

# 29年5月 ひびき動物病院 かわらばん



## ホームページをリニューアル

開院時から育ててきたホームページを、ようやくリニューアルすることになりました。親しみ慣れたホームページでしたが、技術の進歩には追いついていけない環境になって来ていました。

更新作業のため、最近では既存ページも放置状態になってしまい、カレンダー等ご利用頂いている方も少なくないので、心配していましたが、やっとスタートします。

色々な情報の更新は、かわらばんと、ホームページ内ブログを中心に情報発信するつもりです。SNSもツイッターやフェイスブック、最近ではインスタグラムにもバラバラで投稿していましたが（ご存知でしたか？）こちらも、もう少し見やすくなるのではないかと考えています。今後ともどうなるか楽しみに。

## 犬の咬傷予防週間

アメリカでは4月の第2週目に「犬の咬傷予防週間」が設定されており、獣医団体AVMAが関連資料を提示しています。毎年アメリカの450万人が犬に咬まれておりそのうち5人に1人が治療が必要になっていきます（イヌ人口は推定7000万頭とあります）。毎年80万人以上のアメリカ人が犬の咬傷で受診していて、少なくとも半数は子供です。子供たちは犬の咬傷に会いやすく、さらに重傷を負うリスクも高いようです。幼児においては、日常のおなじみの犬との間で事故が発生しています。最近も報道がありましたね。やはりよく知ってるワンコに咬まれている傾向があるんですね。そして、2番目に咬傷に会いやすいのが、高齢者と出ています。

参考になりそうなので、AVMAの記事から抜粋します。

未知の犬は避けましょう。もし所有者と一緒にいる場合は必ず許可を得ましょう。興奮している犬がそばにいる場合、子供には静かにそこから離れることを教えて下さい。怒鳴ったり、走って驚かせたりしないように教えて下さい。

犬が自分の箱や空間に入ったら、そっとしておいてください。犬には子供が行かない快適で安全な場所が必要です。

子供には優しく教えて下さい。そして、幼い子供が動物のサインを理解することを期待しないでください。子供たちには、犬と一緒に遊びたがると教えて下さい。でも犬が去ったらやめさせてください。もうやめて、というタイミングを子供に伝える方法です。犬のたべものやおもちゃを取り上げたり、けったり殴ったりはさせないでください。

耳や尻尾を引っ張ったり、犬に乗ろうとしないように教えて下さい。

子供がいる場合は、常に犬の周りを監視し、子供と犬のやりとりを気にしている必要があります。もしも監視のない状態であれば、幼児や子供部屋からは犬を離すべきです。

眠っている時や食べている時は、犬を一人にさせてあげるように教えて下さい。

子供たちに、あまり多くの責任を与えないように、おとなが監視してください。

覚えておいてください。子供にペットを与えるということは、あなた（大人）もペットを得る（＝大人が関与しないといけないということ）ということになります。

AVMAのホームページで原文が見られます。翻訳ページでもなんとかわかります。

こどもの教育用の塗り絵もあって、これも参考になりそうです。

予約用時間  
のお知らせ  
(4~6月)

お昼時間  
12時~14時  
まで

混雑回避のため予約用時間を設定します。

この時間は  
緊急を除き  
予約の方から  
順番にします。

お電話にて  
承ります。  
当日  
12時まで  
受付します。

4~6月は  
ワンコが多く  
ニャンコが  
怖がるため  
ネコ時間の  
確保のため  
でもあります。

日曜祝日も  
同じです。

832-0390

## 老犬・老猫セミナー 2

動物愛護センターのセミナー講師をまた7月にやることになりました。

とりあえず前回実施してみて、こういうところの話を聞きたい、など、そこから見えてきた課題が出てきましたので、続きをやってみることにしました。写真や話題などを、また集めたりしないといけないので、必要な時はご協力をお願いするかもしれません。よろしくお願ひします。なかでも「うちもそうなのよ」と、飼い主もペットも高齢となり、この後面倒見て行けるかしら?と考へている、または実際飼い主さんが病氣になつてしまつたりで、どうしよう?という場面を経験した、なんていう方からも、先生どうしたらいいのかしら?と同じような反響を頂いています。

実際のところ、デリケートな問題ですぐに答えがでるものではないのですが、今後このようなケースは少なくないはずで、みんな考へ悩んでいる状況ではないかと思つています。

モデルケースや提案等ありましたら、是非教えて下さい。

かわらばんを書いている時に、先日、磯子の獣医師会の会合で、磯子でも独自に老犬セミナーを実施する運びとなりましたので(ついでにやってくれ、というノリなのかかもしれませんが)引き受けることになりました。秋の動物愛護週間に、役所で長寿犬表彰が行われていますが、これに関連した時に、ということだそうですね。今年は長寿ペットの写真展(役所に展示)も同時開催の案が出ており、また時期になったらご案内しようとおもいます。

どなたかいらっしゃったら  
是非ご紹介ください!

動物看護師さん・トリマーさん募集  
アルバイトさんパートさん(経験者は年齢不問)  
正社員希望の方もお気軽にお問い合わせ下さい。

832-0390